

目的

Westen Sydney University(以下WSU)で起業家マインドを学ぶ
SDGsの視点から社会課題を発見し、チームでビジネスアイデアを考え、
ピッチを行い、国際社会で通用する問題解決能力や対話力を身に着けること

メンバー

関西国際大学: 加山 泉水 Mai Thi Van 駒井 梨沙 岡崎 智紀
川端 友結 平櫛 礼那 森田 夏波 柳 世瑛
宮崎国際大学: 築瀬 航
神戸芸術工科大学: 安 庭韻

期間 9/8～9/18

Day1-Day2



Day 1 WSUのParramattaキャンパス行き、現地の学生や先生と挨拶をして「起業家とはどのような存在か」をクイズ形式で学びました。
Day 2 Advanced Manufacturing Readiness Facility (AMRF)とWesten Sydney Airport で学生のピッチを見学しました。

Day3-Day5



Day 3 最終ピッチをするチームを決めて、テーマを考えました。
Day 4 WSUのBankstownキャンパスで最新技術を体験しました。
Day 5 チームアイデアのイメージを発表し、午後にアボリジニ体験をしました。

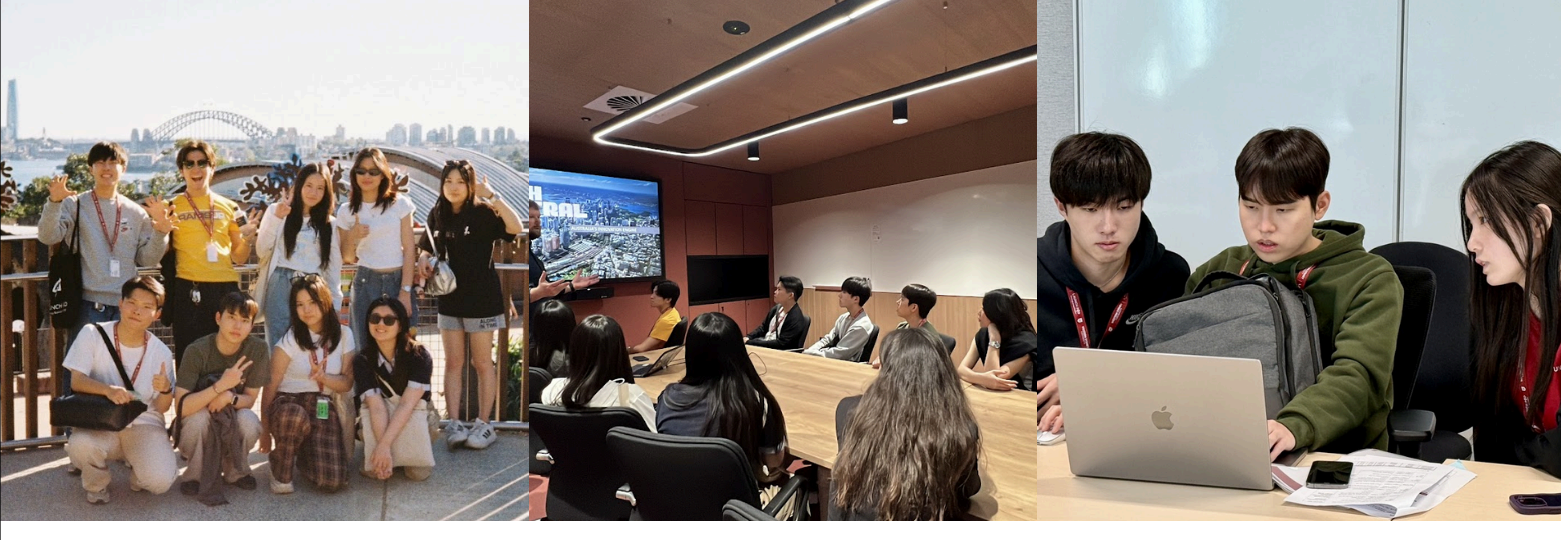
Day6-Day7(Weekend)



Day 6 Bondi Beachに行き、シドニーの街を散策しました。
Day 7 Blue Mountainsに行き、砂岩のThree Sistersを見ました。

自然と都会、それぞれの魅力を味わい、充実した休日をお過ごししました!!

Day8-Day10



Day 8 University of Technology Sydneyに行き、周囲のStartup企業を巡り、タロンガ動物園に行きました。
Day 9 チームでアイデアについて話し合い、Australia-Japan Society の話を聞きました。
Day 10 ピッチのスライドについてアドバイスをもらい、修正や練習を行いました。

Final Pitch

それぞれのチームで選んだSDGsに関連するビジネスアイデアを考え、プログラム期間に学んだことを活かしながらピッチに挑みました。

プログラムを通して学んだこと

起業家になる人は特別な能力を持っているのではなく、誰の中にも存在する、心の内にある疑問を追いかけて続けることで起業家になるチャンスを掴めるのだと気付きました。また、チームでSDGsについて考える際に、全員が違う視点から物事を捉えていて、とても興味深く面白いなと感じました！



Final Pitch



GOAL 3 HEALTH



problem：朝食を抜く大学生が増えています。理由は「時間がない」「夜遅くまでバイト」「ダイエット」などさまざま。でも、朝ごはんを抜くと集中力が下がって授業に身が入らない！

solution：大学で1日1個無料配布される栄養補填ガム「Wunummy」。噛んで満腹中枢を刺激し、飲み込むと胃でふくらんで空腹を防ぐ！学生証をかざすだけで自販機から簡単にゲット。パッケージには企業広告付きで、就活のきっかけにも！

problem：バヌアツでは毎年約1,000人の子どもが学校をやめています。理由は「教室がぎゅうぎゅう」「勉強しにくい環境」など。タブレットを配っても、使う仕組みが整っていないくて効果なし！本当に必要なのは、“もの”ではなく“学べる環境”なんです。

solution：「Vanu:Arts」は、“配るだけ”じゃない新しい学びの形を提案！タブレットに2つのアプリ-「Vanu」で授業をダウンロードし家で学ぶ、「Art」で学んだことを作品にして発信！作品は地元デザイナーが商品化し、売上は教育へ。学ぶ→つくる→教育を広げる、そんな循環を生み出します。



GOAL 4 EDUCATION



problem：インドネシアでは、水は豊富でも、「安全な水」は不足しています。そのため、下痢やコレラなどの感染症が広がっています。

solution：ろ過装置付きの「Airax Bottle」。活性炭で殺菌・消臭し、フィルターでマイクロプラスチックを除去！どこでも透明で安全な水をつくれる。軽くて持ち運びやすく、高いろ過効果、そしてBPAフリーで体にも優しい！



GOAL 6 WATER

